

CASBEE[®] さいたま2016年版 | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版

使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	さいたま市立と野本町小学校複合施設	階数	地上3F、地下1F
建設地	さいたま市中央区本町東3丁目5番23号	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	533 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,440 時間/年(想定値)
建物用途	学校、病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年2月 予定	評価の実施日	2018年11月16日
敷地面積	仮想敷地 3,160.00 m ²	作成者	(株)高岡建築設計事務所
建築面積	1,566 m ²	確認日	-
延床面積	3,107 m ²	確認者	-



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<p>本建物は、昭和33年に開校された小学校とその周辺にあった公共施設を一建物として複合化し、文化的な多世代交流を図ることができる地域の交流拠点としての施設を目指し計画された。計画地周辺は静かで良好な住宅地が形成されているため、周辺の景観と調和し「落ち着いた」「親しみやすさ」「豊かさ」「安らぎ」を兼ね備えたデザイン、及び植栽計画も行い、文教のまちにふさわしい景観となるように配慮した。</p>		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
F☆☆☆☆建材を全面的に採用し、全館禁煙とするなど、空気質環境にも十分配慮している。	階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。	地域交流室を設置し、地域貢献に配慮している。また、街路灯を設置し防犯性に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱材を強化し、建物の熱負荷を抑制している。	自動水栓や省水型機器を用いるなど、水資源を保護している。	広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される